

協働パイロット事業 (H27) 企画提案書

団体名: 特定非営利活動法人日本栄養改善学会

1 事業の名称

今考えてみよう？
私の食べ物が私の命！！

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください)

我が日本は

現代社会においては飽食時代です。
それゆえに食のバランスの悪化を招き入れる形
と成ってしまいました。

食品添加物をはじめ化学物質、大気汚染
土壌汚染、更に複雑な社会のしくみや歪んだ
人間関係等で特に若い世代ではストレスを受けや
すく心疾患の人も増えてきています。

増々新陳代謝異常の人が年々増え三大〜四大
そして五大疾病へと移行(2011年7月6日厚労省発表)

本事業では市民の健康づくりに寄与し明るい住み
やすい環境づくりを築きあげていきます。

本事業を韮田市との協働で行うことにより一層
食と健康づくりに対する市民の関心度が向上される
ことが期待できます。

3. 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

* 特定非営利活動法人
日本細胞矯正普及協会

役割

教材、アンケート等の作成

教材、材料準備及び運搬

場所、市民活動センター、学習センター等

講師、助手、書記、受付、司会

* 静岡市健康づくり推進課 役割

静岡市、市広報掲載PR

プレスリリース発行

受講者集め

4 事業計画・実施スケジュール

7月中旬 実施会場の担当者と事業実施に
関する詳細の打ち合せ

9月中旬 第1回長田学習センターにて講座開催

9月下旬 第1回受講者アンケート解答礼状
(70名対象)

10月下旬 細胞矯正食学教材作成開始

11月下旬 第2回 東新田公民館にて講座開催

第2回 受講者アンケートによる解答礼状
(70名対象)

平成28年1月中旬

新年会と同時に平成27年9月中旬

と11月下旬の講座終了について

会議、(実績報告書)交流会

5. 実施体制及び主要スタッフの経歴

	担当業務	氏名	団体役職	備考
1	全体統括	大橋章二	監事	静岡市市会議員28年後 町内会長 民生委員 駿河区連合会長
2	講座講師	加藤節子	理事長	ゆりの会ボラ27年 <small>後</small> 静岡市リーディング育成カレッジ 静岡市市役所臨時職員退任 <small>後</small> NPO法人日本細胞矯正普及協会設立 22年10月1日
3	スタッフ	山崎照代	会計	家庭の主婦(行政書士経験) PTA役員後 町内婦人会会長
4	教材作成	鈴木和美	会員	保育士23年後 民生委員、児童福祉委員
4	教材作成	加藤節子	講師	男女共同参画社会ハザハ審議会
5	スタッフ	高橋礼子	理事	オース生命退社後 PTA役員 自治会女性保健委員

※その他ボランティアスタッフ
5名程度が参加予定

6 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など)

この細胞矯正食医学とは真実の健康になるための知識と代謝病の原因究明を持つ学びです。

病の根源を知るには先ず細胞の仕組みを知り食との関わりを知る必要があります

自然の摂理に適った人間のもっている治癒力を利用し人が通常食へているものでいかに人の健康を支えるかと言うことです。

1. 細胞矯正食学に関する専門的な知識を普及 養成 認定
2. 独立用業支援
3. 食育による子どもの健全育成
4. 社会教育の推進
5. リンパドレナージュ 養成 認定

等(1~5)事業を行うことにより公益の増進に寄与することを目的としています。

4段階の学び

1. ミニ講座 (1時間半×1回) 細胞矯正食学の入口の学び
2. 家庭コース (2時間×3回) 毎日の食事を充分に見直すことが出来る
3. 初級コース (5時間×6回) =資格あり(講師補助)
4. 教育コース (5時間×12回) =資格あり(講師)

の4コースに分けられています

2010年~2014年間に於て 各市市民活動センターを始め

施設、地域(公民館) 幼稚園、学校 等で講座開催

※26年度3000名以上の開催

効果

- ◎ 食への感心度が高くなった
- ◎ 体質が改善された
- ◎ 元気に成った
- ◎ 細胞矯正食学士と活躍できた。暇く眠れた。
- ◎ 初めて聞く話がアツかった
- ◎ 足や体が軽くなった

※ 受講者のアンケートやTEL、FAXでの上記情報

協働パイロット事業 (H27) 見積書

団体名:

企画のタイトル:

今考えてみよう?
私の食物が私の命

項目	金額	説明
謝金	106,000	講師の補助 15,000 ^A × 2回 = 30,000 7,000 ^A × 4 × 2回 = 56,000 1,000 ^A × 10人 × 2回 = 20,000 1,000 ^A × 5人 × 2回 = 10,000
交通費	25,000	15,000 ^A × 5人 × 2回 = 15,000 3,000 ^A × 6ヶ月 = 18,000
通信、運搬費	28,200	82 ^A × 100枚 = 8,200 1,000 ^A × 2回 = 2,000 100 ^A × 70人 × 2回 = 14,000 50 ^A × 70人 × 2回 = 7,000
消耗品費	21,000	50 ^A × 70人 × 2回 = 7,000
印刷、製本費	49,000	350 ^A × 70人 × 2回 = 49,000
賃借料	24,000	4,000 ^A × 6ヶ月 = 24,000
会議費	10,000	500 ^A × 10名 × 2回 = 10,000
備品、材料	56,800	3,900 ^A × 4本 = 15,600 ^A ヒートリ-232 3,800 ^A × 4本 = 15,200 ^A セリー 2,000 ^A × 2回 = 4,000 ^A 野菜 700 ^A × 2回 = 2,000 ^A 2,000 ^A 市より 4=10=式012 洗面台等
保険料		市より
小計 A	320,000	
消費税 B=A×0.08	25,600	
合計 A+B	345,600	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
200 ^A × 70人 (9A)	14,000	テキスト
200 ^A × 70人 (2A)	14,000	テキスト
100 ^A × 50人 (9A, 10A)	5,000	野菜